

矢部高校通信

令和5年10月11日(水)

文責：校長

中島小学校との交流会



食農科学科では、地域の小学校との交流も行います。草花や野菜、果樹の栽培しているところを見てもらい、生徒たちが説明をしていました。その後に交流会やスイカの試食も行いました。小学生は興味津々でした。植物に触ることで、学ぶことはたくさんあります。数年後、植物が好きな子たちが入学してくれることを期待しています。

交通安全キャンペーン & 薬物乱用防止



交通安全委員会は、山都町内の交通安全キャンペーンにも協力しています。町内では2件の死亡事故が発生しています。生徒の転倒事故もありました。安全意識を高めるためにも大切な活動となっています。

山都署の方が、朝から生徒たちに薬物乱用防止、闇バイト防止のチラシを配布されました。最近は、高校生の関与も報道されています。一人ひとりが意識して、違法行為につながらない行動をとってくれることを願っています。

天然記念物ゴイシツバメシジミのために



山都町には、貴重な国指定天然記念物「ゴイシツバメシジミ」の蝶の自生地がありますが、絶滅危惧種です。この蝶は、シンランというランの仲間の植物がなければ繁殖しません。そこで、九州森林管理局や山都町とともにシンランの増殖に取り組んでいます。この日は、九州大学の先生方に鉢上げ方法について教えていただき、実際に取り組んでいました。地道な取り組みになりますが、矢部高校ならではの貴重な経験です。校長室でも一鉢育てています。

SNSマナー向上のために



コロナ禍が終わり生徒たちの交流が活発になってきました。それに伴い、全国的な傾向もありますがSNSでのトラブルが続発しています。生徒たちにとっては欠かせないツールですが、その使い方やトラブル回避の方法も知っておく必要があります。

この日は、山都署から来ていただき講習会を開きました。とても真剣に聞いていました。本校の成長段階にある生徒に大切なのは、様々な機会をとおして直接お互いを理解していくこと。お互いを思いやること。その思いを伝えることです。社会や次のステップに進むためには、コロナ禍で磨けなかったコミュニケーション力をしっかり磨いてほしいと思っています。

矢村神社例大祭



矢部高校の敷地の一角に矢村神社があります。1006年創建の神社です。阿蘇神社にゆかりがあり、南方にお社を建てるのに放った矢が刺さった場所と言われています。弓矢の神様とも言われています。9月15日に例大祭が行われ参拝してきました。玉串を奉納し、矢部高校の安全と生徒職員の無病息災を祈願してきました。最後に、玉串も分けいただき、その玉串は校長室に置いています。

農産物販売会に向けて



11月の文化祭も近づいてきましたが、その前に農産物の販売会を行います。食農科学科や林業科学科での学習の成果である農産物や加工品、生産物を保護者や地域の方々に購入いただき理解を深めていただきたいと思っています。温室やハウスでは、生徒たちが日頃から愛情を込めて取り組んでいる野菜や草花がすくすくと育っています。とても楽しみです。

PTA中央地区指導者研修会



子どもたちの成長には、保護者と学校が理解を深め、協力しながら取り組むことが重要です。矢部高校は、中央地区のPTA組織となります。この日は、嘉島町で研修会が行われ、東稜高校と熊本工業のPTAが日頃の取り組みを発表されました。どの学校も活発に活動されていてとても参考になりました。坂本育友会会长も参加され、保護者と学校が協働することの大切さを再認識しました。